

野生鳥獣の肉における放射性物質の測定結果について  
 (令和6年度第5報)

気仙沼市で採取されたニホンジカの肉について、国の基準値(100ベクレル/kg)を超える放射性セシウムが検出されました。

基準値を超えた地域においては、ニホンジカ肉を食用として摂取することを控える等、引き続き慎重に対応いただきますようお願いいたします。

なお、ニホンジカ肉については、平成29年12月13日付けで、県内全域を対象に国から出荷制限指示が出されており、現在も継続しておりますが、県の管理下において全頭検査を行い、放射性セシウムの検査結果が国の基準値を超えないものに限って出荷制限が一部解除されているものです。

また、イノシシ肉については、平成24年6月25日付けで、県内全域を対象に国から出荷制限指示が出されており、現在も継続しておりますが、県の管理下において全頭検査を行い、放射性セシウムの検査結果が国の基準値を超えないものに限って出荷制限が一部解除されております。

1 測定結果

(単位:ベクレル/kg)

鳥獣名	捕獲場所 (鳥獣保護区等位置図 表記地区)	放射性セシウム		捕獲 年月日	測定日
		測定値	食品衛生法の 規定に基づく 放射性物質の 基準値		
イノシシ	白石市 福岡深谷正人壇	20.7	100	R6.8.25	R6.9.26
	蔵王町 宮字荒子	不検出		R6.9.2	
	亘理町 吉田字内谷	12.7		R6.9.10	
ニホンジカ	登米市 豊里町本地	不検出		R6.9.7	
	気仙沼市 上東側	130		R6.9.18	
	女川町 針浜	不検出		R6.9.23	
	女川町 石浜	25.9			
カルガモ	大和町 落合桧和田	不検出		R6.9.8	
オスキジ	登米市 米山町善王寺	不検出		R6.9.24	

※ 次のURLから、野生鳥獣肉に係るこれまでの検査結果が確認できます。

<https://www.r-info-miyagi.jp/r-info/archive/> (みやぎ原子力情報ステーション)

2 測定年月日 令和6年9月26日

3 検査機関及び検査機器 株式会社 理研分析センター  
 ゲルマニウム半導体検出器

4 検出下限値 6.69 ~ 9.93 ベクレル/kg

(参考)

(1) 不検出

放射性物質の濃度が、検出下限値に満たないことを指します。

(2) 検出下限値

当該測定機器で検出できる放射性物質濃度の最小の値を示し、測定ごとに異なります。

なお、測定値及び検出下限値は、セシウム134及びセシウム137それぞれの値を

合算した値であり、測定の結果によりセシウム 134 又はセシウム 137 のどちらかが不検出の場合などでは、測定値が検出下限値を下回ることがあります。